

令和5年第3回定例会 総務市民委員会 報告（要点筆記）

議案第53号 四国中央市印鑑条例の一部を改正する条例について

質 疑

○委 員

他市の窓口におけるマイナンバーカードによる印鑑証明書取得の取扱い状況及び実施開始時期、そして市内の証明書発行状況について伺う。また、マイナンバーカードの安全性について、見解を伺う。

○理事者

他市の状況については、おおむね足並みをそろえていることから、同じような時期になっている。コンビニエンスストアでの証明書発行の取扱いについては、国からの利用発表後に全国のコンビニエンスストアで利用が可能となるため、全国市町村における実施は国からの利用発表後になると考える。

市内の証明書発行状況については、月平均で170件ほどがコンビニエンスストアで交付されている。1月当たり1,200件ほどが、通常の方法で印鑑証明が発行されているため、1割ほどがコンビニエンスストアで交付されている現状である。

マイナンバーカードの安全性についてだが、マイナンバーカードに内蔵されたICチップには重要な情報は記録されておらず、券面事項として、氏名、生年月日、住所などの情報のみが記載されている。

ICチップについては、個人の医療情報や税の情報などの重要情報は記録されておらず、マイナンバーカードを落とした場合でも、誰かに情報を読み取られることはなく、安全性が確保されているものと理解している。

議案第55号 令和5年度四国中央市一般会計補正予算（第3号）〔所管分〕

質 疑

○委 員

歳入で電気自動車普及拡大支援事業費補助金があるが、歳出における状況を伺う。

○理事者

従来は、家庭用リチウム蓄電池システムの導入における補助をしていたが、令和5年度から電気自動車について追加している。歳出における状況について、当初予算では10件で計上していた。令和5年7月末現在で、事前申請が23件提出されているため、補助制度としては好評であると考えている。

○委 員

①市民文化ホール費の館用備品及び施設整備工事について、詳細を伺う。

②常備消防施設整備事業における東分署の空調設備工事の内容について伺う。

○理事者

①市民文化ホール費の館用備品は、大ホールにおいて式典等を行う際に、高齢者や障がい者が一般客席の車椅子席などから、段差なしで舞台に移動できるように、着脱式の手すりを備え付けた仮設の通路を整備するものである。

また、施設整備工事は、2つの工事があり、1つは、音声標識ガイドシステム設置工事に係る工事費581万9,000円である。この工事は、四国中央市障がい者福祉団体連合

会より要望があったもので、しこちゅ〜ホールの正面玄関と緑の広場西側入口に、本庁舎や交流棟と同じ音声案内が流れるシステムを整備するものである。もう1つは、しこちゅ〜ホールの玄関前に整備している噴水等循環設備のポンプ取替え工事に係る工事費391万6,000円であり、ポンプ3基分の工事費を計上している。

○理事者

②東分署2階にある職員用の仮眠室及び研修室の2系統の空調設備に不具合が生じている。この空調設備は、平成11年の建設当時からの設備であり、修繕が不可能であるため、この2系統の空調設備を完全に取替える工事である。

○委員

①市民文化ホールが建設されて間もないが、説明にあったことを考慮されて、設計の段階で組み込まれるべきであったと考えるが、検討されなかったのか。

②市制20周年記念事業に650万円が予算計上されているが、市制20周年を祝う内容で、様々なスポットやイベントに予算を充当している。先の10年、20年の中で、我々の目指すまちはどのようなまちであり、どのようなことに取り組んでいきたいというような大きなビジョンを発表するようなことにも予算を当ててみてはと思うが、見解を伺う。

○理事者

①市民文化ホールの設計については、当時、総合的に勘案した上での結果であると考ええるが、調整不足などにより考慮されていなかったのではないかと思う。

○理事者

②市制20周年は、市民や市職員にとって再スタートする節目であると考ええる。一方、市の在り方は、大きく変わってきているため、十分に考えなくてはいけない。企業でいう経営計画のようなものとして、市では総合計画などを策定している。しかし、総花的になっており、本市はこれで生きていくというのが分かりづらい状況になっている。これを契機に、地に足をつけた計画・戦略づくりに取り組みたいと考えている。

○委員

以前より、市民文化ホールのガラス張りのよさは開放感だと強調していたと思うが、昨今の気候変動で夏場の暑さ対策を聞いたところ、そのときはロールカーテンを下ろすという話であった。今年の夏は猛暑であり、確かに暑いという話を入館者の方から聞く。改善するためには、大規模な予算を伴うため現実的ではないと考える。開放感のためにガラス張りにしておきながら、暑さ対策のため、ロールカーテンを下ろすということに違和感があるが見解を伺う。

○理事者

建設当初から、谷議員に指摘をいただいたことを、しっかり覚えている。しこちゅ〜ホールは、複層ガラスで断熱性能を備えている。夏場に、私も行事でしこちゅ〜ホールへ行くことがあったが、空調設備を適切に運用しているため、我慢ができないというほどではなかったと思う。開放感は何物にも代えがたく、利用者には、閉鎖的な空間より、快適ではないかと思っている。

○委員

予備費における川之江高校の甲子園出場に関する歳出について伺う。

○理事者

今回、緊急性もあり、予算計上が間に合わなかったということで、予備費で対応した。

内容は、川之江高校野球部の後援会への補助金が800万円であり、文化・スポーツ振興課のスポーツ振興事業補助金で支出した。それ以外では、シティープロモーション活動の一環として、パブリックビューイングの実施や市内に横断幕やのぼりの設置を行い、人件費も含めて400万円程度の予算執行を行った。

○委員

市制20周年記念事業で様々な行事もされるということだが、過去にも一般質問された内容で市の花や鳥、木などの制定について、見解を伺う。

○理事者

市制20周年に向けて、市の花や鳥、木などの制定について何らかの方向性を示せるように現在検討している。方向性が決まり次第、議員にも説明し、御意見をいただきたいと思っている。

○委員

①市民窓口センター整備事業について、土居窓口センターの外壁の工事ということだが、現状及び修繕内容について伺う。

②しこちゅ〜のキャラクターを2体作製するということだが、素材、大きさ、配置場所について伺う。

○理事者

①土居窓口センターの外壁改修工事については、令和4年度に外壁調査を実施したところ、建物全体にタイルの欠損、爆裂などが確認された。改修として、タイルの欠損、爆裂部分などに透明な樹脂を注入し接着させ、その後、外壁全体を包み込むように樹脂を塗膜する工事である。

○理事者

②しこちゅ〜のキャラクターについては、市内外の方より、一緒に写真を撮りたいという要望もあることから、写真を一緒に撮れるよう、土台を含め130センチメートル程度の大きさのものを繊維強化プラスチックにて製作する。また、書道のまちであるため、しこちゅ〜に羽織、袴を着せるデザインを考えている。自由に移動もできるが、しこちゅ〜ホールと書道パフォーマンス甲子園の会場である伊予三島運動公園体育館に設置する予定である。年明けには競書大会もあるため、競書大会に間に合わせたいと考えている。

○委員

前回、一般質問した際に、上限の耐久年月を超えている公共施設が5割以上あることを教えてもらったが、人口減少により、施設運営ができない状態になっているにも関わらず、建物だけが残し、コストがかかるということになりかねない。老朽化により、危険性がある施設や膨大な改修費用がかかる施設を抽出して、統廃合を進めるなど、時代にあった公共施設の総合的な計画が必要であると考えている。

○理事者

管理課で総合的な見直しを行っている。以前よりホールや福祉施設など、それぞれの個別施設計画を策定しているが、順番付けなどができていない。とりまとめができれば、お示ししたいと思っている。

5年陳情第3号 健康保険証の廃止を中止し、存続を求める陳情書

意見等

○委員

もう少し国の動向を注視しながら、検討していく必要があると考えるため継続審査でいかがか。

○委員

現在、マイナンバーに関する問題が多発している中での、健康保険証の廃止、マイナンバーカードとの一本化に、私は賛成できない。政府は、資格確認書を発行するとしているが、陳情にもあるとおり、健康保険証を残せばいいだけの話である。市民からも多くの不安の声を聞いているのは、私だけではないはず。健康保険証がこれまでどおり使えるように、この陳情は採択して、国に対して、本市議会から、意見書を提出すべきと考える。

5年陳情第4号 インボイス制度の実施延期を求めることに関する陳情

意見等

○委員

この陳情書にもあるとおり、インボイス制度実施を契機に、事業の継続を断念する零細事業者が出てくることは明白である。また、現在、様々な業種、業態で深刻になっている人手不足に拍車をかけることにもなる。今やるべきことは、消費税減税であって、インボイス制度の実施ではない。

○委員

このインボイス制度の実施延期の件については、以前の定例会において、同類の陳情が提出され不採択となっている。インボイス制度については既に方向性が決まっているため、今回の陳情についても不採択と考える。

主要事業 「トイレ洋式化整備事業」

質 疑

なし

主要事業 「行政M a a S事業」

質 疑

○委員

これは本当に必要な事業なのか見解を問う。

○理事者

私は、平成24年当時から、市民窓口センターの業務に関わっている。窓口業務の適正化事業の推進が、当時から言われており、出張所に関する議論が、どうしても出てくる。出張所の整理や統廃合などの検討の条件として、まず、コンビニエンスストアで証明書交付ができるようになったことと、証明書発行ができる移動式の車両を作ったことによる窓口業務の適正化、出張所の在り方及び現在出張所がないところでのサービスの提供が一つのポイントになっていくかと思う。私は、行政M a a S事業は、そういう意味を持っていると説明ができるものであり、推進していくべきものと認識している。